

自動車環境計画 実施状況報告書 提出事業者一覧 計画期間:令和元年度～令和3年度

事業者名	所在	提出区分		業種			使用台数	令和元年度 燃料の使用状況				二酸化炭素の排出量(参考値)	温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標の達成状況	温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標を達成するために講じた措置	左記以外の温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況	温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標を達成することができなかった場合の理由
		条例第14条第1項	条例第14条第2項	トラック	バス	タクシー		揮発油 kl	軽油 kl	液化石油ガス(LPG) t	圧縮天然ガス(CNG) 千m3					
株式会社富士ミルク 山梨営業所	南アルプス市鏡中條川東4567-1		○	○			3		69.8			180	令和元年度 燃費使用量 69.813Kℓ、走行距離 235.478Km 燃費 3.37Km/ℓ 平成30年度 燃費使用量 68.44Kℓ、走行距離 241.207Km 燃費 3.524Km/ℓ	省燃費運転の奨励及び安全教育の実施 IT機器を使用している運転状況確認 定期的な車両点検実施(オイル、エアエレメントの定期交換) エコタイヤの装着、空気圧の適正管理		輸送品目の変更などに伴い車両への負担が増加したため、一部車両に対して距離当たりの燃費は下がりました。 原因は車両の老朽化などが考えられます。(整備は定期的に実施中です。)
甲斐運輸株式会社	笛吹市石和町井戸221		○	○			29		470.0			1,213	令和元年度は平均燃費で前年を僅かに上回った。 平成28年度 平均燃費 3.073Km/ℓ 平成29年度 平均燃費 3.065Km/ℓ 平成30年度 平均燃費 3.071Km/ℓ 令和元年度 平均燃費 3.081Km/ℓ	「グリーン経営」「Gマーク」の継続取得。 デジタルタコグラフの活用。 速度制御及びアイドリングストップの徹底を図った。 定期的なオイル交換の実施とエアエレメントの清掃・交換。		
平沢運輸株式会社	甲斐市竜王新町568		○	○			15		226.9			585	・2018年度 走行距離 703852Km/給油量 243288ℓ/燃費2.89Km/ℓ ・2019年度 走行距離 656141Km/給油量 226885ℓ/燃費2.89Km/ℓ ・前年対比で±0で目標には届かなかった。	・燃費目標を定め、前年度対比で表している。 ・車両1台あたりの燃料使用量を前年度より削減する。 ・会社全体で前年比の0.2%削減に取り組んでいる。 ・エコドライブの推進、全社員への教育を実施。 ・アイドリングストップ車の導入。		・車腹の大型化によりトレーラーでの配送が増加したことにより燃費が悪化してしまった。 ・ローカル移動が増え、高速移動の減少で燃費が悪化してしまった。 ・近年の猛暑の影響でエアコンの設定温度を下げ、使用頻度も増してしまった。 ・今後は、こまめなアイドリングストップを実施し、エアコンの適正温度の設定にも気を付けていきたいと考えております。
株式会社東栄	甲州市塩山熊野46-1	○		○			52		431.5			1,113	令和3年度末で、平成30年度末に対して燃料1ℓ辺りの走行距離を2%改善する目標に対し、令和元年度末時点で、平成30年度に対して0.25%の改善となりました。	1.車両更新計画に基づく車両の順次更新と、新型の高機能な車両を使用 2.導入済みのデジタルタコメーターの更なる活用 3.余計な運転を減らすことによる温室効果ガスの削減		
株式会社流通サービス	埼玉県草加市遊馬町769-1	○		○			43	0.4	39.0	29.0		189	・計画に対し燃料使用量が増加し、目標は達成出来なかった。	・弊社、独自の「流通サービス エコ・アクション」を実施し、エコドライブを実践する。 ・年式の古いLPG車両を計画的に低燃費車へ代替する。		・台数が1台増車となり使用量が増加した。また、使用本拠地も移転したため、燃料使用量が全体的に増加した。